

## Alma の物理的リソース

Alma の物理的リソースに関するトレーニングセッションへようこそこのセッションでは、Alma が使用するインベントリーモデルとさまざまな種類のメタレコードの整理方法を学習し物理的リソースとそのレコードの例を見ていきます

Alma の物理リソースのインベントリーモデルは、次の 3 つのレベルから構成されています

書誌レベル、所蔵レベル、アイテムレベルです

書籍や逐次刊行物などのインベントリーは次の各レベルでメタデータレコードを持つことになります

書誌レコード、所蔵レコード、アイテムレコードレベルです

実際、書誌レコードには複数の所蔵レコードが含まれる場合があります各所蔵レコードには複数のアイテムレコードが含まれる場合があります

別のトレーニングセッションでは、Alma のメタデータエディターとレコードを編集する方法を学習します

今回はこのモデルが実際の物理的資料にどのように適用されるかをご紹介します

Alma で常に表示されている検索バーを使用して物理的タイトルを探します

物理的タイトルの検索ではタイトル、著者、ISBN などのフィールドにより書誌レコードを検索できます

これがあなたの機関で利用可能な印刷書籍です

タイトルをクリックすると書誌レコードが表示されます

出版社や販売代理店 国立図書館システムや OCLC などの外部リソースから書誌レコードを入手できます

Alma で自分で書誌レコードを作成することもできます

Alma でタイトルを検索すると書誌レコードが見つかります

Alma に書誌レコードがあれば所蔵レコードを添付できます

資料が入手できる場所ごとに所蔵レコードが存在します

例えば、科学図書館と大学院図書館に書籍がある場合は、2 つの所蔵レコードが存在することを意味します

また、メイン図書館の書籍が異なる 2 箇所にある場合はさらに 2 つの所蔵レコードが存在します

科学図書館では、実際には 1 つの場所に 2 冊の書籍があります

つまり、科学図書館の所蔵レコードには、2 つのアイテムレコードが含まれることになります

各アイテムレコードには、バーコードに加えてこのコピーが作者によって署名されたというメモといった、その他の識別情報が含まれます

最初から物理的アイテムの記録を見つけない場合は常に表示されている検索バーを使用して物理的アイテムを探します

例えば、著者のサインが入った特定のコピーを探す際に最適な方法です

ジャーナルなど、雑誌として発行される物理的リソースの場合 インベントリーモデルは、アイテムレベルで少し変更されます

これがあなたの機関で利用可能な印刷ジャーナルです

従来通り、雑誌のタイトル、ISSN 出版社などの書誌記録があります

繰り返しになりますが、ジャーナルが利用可能な場所ごとに所蔵記録が存在します

一部の機関では、逐次刊行物のインベントリーを表すために所蔵概要ステートメントを使用します

それ以外の機関では、ジャーナルの各号ごとにアイテム記録を作成します

機関内の電子リソースも特定のインベントリーモデルを用いて Alma で

整理されますがそのモデルは物理的リソースに使用されるものとは若干異なります

次のトレーニングセッションでは、電子リソースについてご紹介します